

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102576		
法人名	有限会社ハピネス		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	静岡県浜松市東区中野町4258		
自己評価作成日	令和元年 11 月 27 日	評価結果市町村受理日	令和2年 2月 27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人静岡県介護福祉士会
所在地	静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
訪問調査日	令和2年 1月 14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設外周の庭で季節の花を楽しんだり散歩が出来ます。毎月イベントがあり誕生会のほか季節を感じられるような企画をしています。毎日の体操もダンスの得意な職員がモデルとなり施設オリジナルのDVDを作成し週替わりで変わる体操を行い午後のおやつ前には口腔体操、個別の歩行訓練等も行っていきます。毎年地区の祭りの屋台が寄り地域の住民とショベル三味線を楽しんだり盆踊りを踊るなど交流の機会は継続できています。職員研修にも力を入れており参加してスキルアップに努める職員がほとんどで介護福祉士の資格者が10名以上在籍しています。医療との連携によりこれまで看取りケアを多く経験しています。離職者が少ない為、経験年数の長いスタッフが多い事で顔なじみの関係が出来、入居者様・ご家族様への安心につながっていると考えます。自社開発の記録システムにより入居者様の表情や言動に気付け、より良いケアに繋げる事が出来ています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは田畑に囲まれ、周辺には住宅が数軒ある程度で、のどかでゆったりとしている。散歩コースでは草花や木々で季節を感じられる環境である。共有部分は木のぬくもりが感じられる空間になっている。地域の行事では駐車場を開放したり「中野町を考える会」に小学校や銀行と共に積極的に参加して、地域との交流を大切にしている。看取りケアの支援では利用者、ご家族や職員のサポートを充分行い、不安のないように取り組んでいる。お風呂にはリフトがあり、どんな状況でも湯船につかれるようになっている。食事は職員も同じメニューで楽しくでテーブルを囲んで共に過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・相談室・事務所に事業所の理念を掲げいつでも目につくようにし、入社時研修、役職研修でも再確認している。個を尊重し生きがいのある安心した暮らしの支援が出来るように努めている	理念は「個を尊重し生きがいのある安心した暮らし」を掲げ、利用者に来ることはやっていただき、生きがいのある生活を支援する事としている。また理念に沿ったケア方法を作成して職員は研修時確認し合っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	中野町のひまわりロードの種まきに参加したり、地域の方を招き交流を深めている。毎年祭りの屋台の休憩所として駐車場を開放し、子供達へのゲームや菓子まき等を実施、婦人部の盆踊り・ショベル三味線の演奏披露をして頂いている	日常的に散歩に出掛けているため、地域の人たちと挨拶を交わし、近隣に住む人たちとの交流は多い。旧国道のひまわり道路の種まきを行い、花が咲く頃を見学に行くことを楽しみにしている。また地域の行事には積極的に参加をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域推進会議の中で、近隣の方に参加して頂き理解していただいたり、施設の様子を説明している。お祭りを通して入居者様も参加し地域の方々との会話を通し活かしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月の代Ⅱ金曜日に固定して会議を開催し、事前に参加の確認の電話も入れている。会議では質疑応答の時間も設け、意見や質問もいただいている。イベントの写真は必ず印刷し御覧いただき、時にはフロアーの様子も覗いていただいている	会議ではホームの事故報告なども入れた情報を共有している。地域の風水害の状況、避難場所など参加者と共に情報交換を行っている。自治会長、地域包括職員、民生員、浜松市職員、そしてご家族、利用者も参加している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課への手続きや生活保護の方をお連れして社会保険課へも顔を出している。事故の際は必ず報告、相談に行き伝えている。	介護保険課、社会保険課など、必要な方は利用者と共に相談に伺っている。また骨折等の事故報告を行う際には、ホームの取り組みや利用者の様子も伝えている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適性検討委員会を設置し3ヶ月に一度会議を開き、検討録にまとめて職員周知等を行っている。毎月身体拘束廃止未実施減算チェックを行いファイリングしている。身体拘束を学ぶ研修も年1回必ず行っている。	身体拘束されている方はいない。高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を行い、職員の共有認識を図っている。さらに毎月身体拘束廃止未実施減算チェックを市からの書式に基づき実施している。玄関の鍵は常に開けておりセンサーも使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修を行い、虐待について深く学び、ケアの方法もカンファレンスで話し合いを行い虐待なりそうな事例はないか検討をし、虐待防止を未然に防ぐことに努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度を利用されている入居者様がおられるので後見人様方との関係を深め心配なく生活出来るよう支援している。なお、高齢のご家族様から相談があった際は後見人様方に相談にのっていただいたりしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に1つ1つ丁寧に説明をさせて頂き、不安や疑問点の有無などの確認の上契約書にサインを頂いている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に必ず、管理者かケアマネが日々の状況等の報告を行い、相談等を気軽にできるように、担当の職員が対応し、小さな事でも言い合える信頼関係を作っている。	家族の面会時に管理者やケアマネが対応している。例えば金銭面から特養への転居相談など家族が話やすい雰囲気づくりをしている。施設の運営に対する意見や要望は聞かれていない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が現場でコミュニケーションを多くとり指導員が年3回定期的に面談を行い、職員の意見などを聴く機会を設けている個々の悩みは月1回の幹部運営会議に持って行くようにしている。	本部の指導員が、3・6・10月に面談を行い、職員の意見や要望を聞いている。また管理者は仕事の継続やケアについて、職員関係・役職の内容などのアセスコードの記録から職員の悩みを聞いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップ手当などで、資格取得を目指している職員に毎月手当が付けられており福利厚生も10月～充実した。プライベートも充実させる事が出来離職しない職場環境作りに努めている。得意な絵やダンスなどで作品提供者へ謝礼もある事でやりがいがある		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力や勤続年数などに合わせて外部研修を受ける機会を確保している、会社としては、個々がスキルアップできるようにスキルアップ手当という形でバックアップしているので個人負担が大きくなりなく取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所へ研修へ行ったり、応援勤務を通して情報を共有したり、サービスの良い取り組みは事業所に戻り同じような改善をし、質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の入居前の生活の把握をし、予測される困っている事がなくなるようなプランを立て、希望を尊重し行動・言動を見守り安心できる環境で生活して頂けるよう情報交換・共有し統一したケアを行うことで信頼関係を構築している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前から密に情報交換と収集を行い、御家族様等からの要望等を聞き入れると共にケアプランのサービス内容に記載をし、入居後の様子の報告も随時行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様と御家族様が今1番困っている事や要望を聞き生活していく上で優先順位を見極めてケアプランのサービス内容に記載し、スタッフ間で統一した支援をさせて頂いている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所者様と一緒に食事をとったり、レクリエーションを一緒に行ったり、洗濯畳みや干しなどの日常生活を共に行うことで、暮らしを共にする関係を築いて支え合う関係づくりに励んでいる		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様との関係を確認・理解した上、一緒に過ごす時間を尊重し、いつでも面会や外出できるように場の提供ができるようにしている。生活に慣れ、落ち着いた頃には関係性が再構築されやすいような情報提供をしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方やご近所の方のご面会については、御家族様の了解等の確認の上、対応させて頂いて関係性が継続できるように支援させて頂いている。毎月、新聞を居室に届けに来てくれる顔なじみの方の訪問もある	友人から絵手紙が送られたり、ホームに毎月訪れてくれる知人もいる。携帯を持参している利用者は娘に電話を掛けている。また、家族が同行して年1回の墓参りをするなど、一人ひとりの生活習慣を尊重している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の要望を理解し、入居者様同士が交流する様子を考慮し、テーブル席等を決めて孤立されないように十分配慮させて頂いている。1.2階の入居者様の交流もある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了後もその後の様子を伺ったり、当施設で支援していた内容を情報提供させて頂いたり、相談等があれば協力をさせて頂いている。退去後も相談の連絡や状況の報告もいただいている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の日常会話からご本人様からの思いや要望を読み取り、カンファレンスの際に職員間で情報を共有しご本人様の希望に添えるように努めている。ご家族様にご協力いただく事もある	入居申し込み時の聞き取り相談において、施設独自のライフコンディションシートを使って、本人の希望確認を行っている。聞き取りした希望は、計画作成時にケアプランに反映し実現に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様等に協力して頂き、詳しく生活歴や馴染みの物などを把握し、出来る範囲内で馴染みの物等に触れた生活ができるように、居室に馴染みの家具を置いたり、写真などを飾る対応をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	カンファレンスを1日1回毎日行い、ケアの見直しや継続を判断し、見直しの際には、試し期間を設け入居者様がより良く生活できるように、現状把握を常に行っている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日のカンファレンスの中で担当者が他職種を含めて色々な視点から現状把握を行うように努めている。ご本人への聞き取りも定期的に行いながら課題についてご家族を含めて面会時等に話し合いをしている	サービス内容実施計画表を使用し、毎日項目をチェックし利用者の支援ができていないかの確認を行っている。パソコン入力でアセスメントポイントグラフという表を3ヶ月ごとに出し、計画作成担当者がモニタリングに繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスでの職員の意見やサービス内容実施記録のチェック結果やケアノートを通して職員間で情報共有をしケアプランの見直しなどを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	不穏になった入居者様へも時間を作り傾聴したり多職種の連携によりフロアスタッフだけでなくケアマネや看護師等が別室対応したりすることで安心して頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	高校生の職場体験を受け入れたり住み慣れた自宅の自治会の方が面会に来ることもある。周辺の散歩を通して会話がはずむ事もある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	365日24時間対応できる協力医療機関と連携を図り、月2回の往診と随時の迅速な往診も整っている。御家族様の希望があれば眼科や皮膚科などの専門医に診て頂き適切な治療を受けられるように支援している	入居時にほとんどの家族が協力医療機関の変更を行っている。月2回の訪問診療や週2回のグループ会社からの訪問看護の支援を受けている。夜間の緊急にも対応できている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の状態変化や気づきを随時、協力医療機関や看護師に相談や連絡をし適切な受診や治療などを受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された際は、御家族様等や入院時の様子を確認に出向き、状態の確認や情報収集を行い、病院関係者の方との関係づくりに努めて、早期の退院に向けて対応させて頂いている。時には医師と協議しご家族様の意向にそえるようにケアマネが動いている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化した場合における対応に係る指針の中に看とりや不慮の事故などを含めて御家族様等に説明、状態変化時は、早い段階で医師を含め御家族様等と話し合い、今後の支援や方針を面談し密に連絡を取り合い支援させて頂いている	入居時に看取りに関する指針の書面を取り交わし、体調変化時にはその都度、4者で（医師、家族、管理者、看護師）確認書を交わしている。看取りの方がいる場合には、随時管理者が研修を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入所者様の急変時や事故発生時に速やかに対応できるように緊急時の対応マニュアルや研修を全職員が学び、24時間相談できる医師等に処置の指示を受けられる体制である		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	風水害訓練も含め年3回実施をし、研修を行い災害の知識を職員が身につけている。近隣の方にも協力を得て、訓練への参加もして頂いている。年2回は近隣住民へ入居者様の避難方法を明記した書類を配り居室入口に札を掲げ避難時の誘導が誰でもわかるようにしている	年3回夜間、水害、火災想定等の訓練を行っている。近隣の方や自治会長に個人が特定できないようにして入居者情報を渡し、災害時の協力をお願いしている。避難場所が遠い為に水害の時は、2階に避難することを自治会に伝えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者様一人一人の性格や生活史を把握し、人格を損なわないように人生の大先輩であることを常に頭におき、言葉かけ等の対応をしている。プライバシーに関しての研修も年1回全職員で行っている	センター方式の書式を使い本人の生活歴を把握し、プライバシーを損なわないような支援を心がけている。声掛け月間を作り「呼び方はどうですか」「寄り添った介護をしていますか」等振り返りを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入所者様との日々の日常会話を通して思いやご希望を表現できる機会を大切に、意思表示が困難な方はご本人様主体で考えて対応を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人の生活ペースに添った生活を送れるように御本人様の意思を大切にしながら生活リズムを作っていけるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容の声かけや介助を行い、更衣時には、御本人様の希望を伺いながら、好きな服を選んで頂いたり、気候に合わせて用意をしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好まれる物を多めに献立に入れ季節のイベントで沢山食べられるように工夫している。テーブル拭きや食事の盛り付けや、食器洗い等を入居者様にお願しながら職員と一緒にやっている。職員と一緒に食事する事で好みや会話も弾み楽しみにつながっている	職員が交代で毎日の食事を作っている。職員も利用者と一緒に同じテーブルで、食事を行うことで嗜好の把握に努めている。盛り付けやテーブル拭きなど利用者の出来るところは行っている。食器は全て自分のものを使っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事形態や量に合わせて対応し、栄養バランスを考えている、食事時以外の時間帯に水分補給の時間を設け、脱水にならないように配慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、入居者様に合わせ口腔ケアを行い、歯科往診にて定期的に、口腔内状態等を把握、対応等のアドバイスを頂いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1,2階に3ヶ所ずつトイレを設け居室からすぐに見つかる位置にある事で困らず排泄が出来るようにしている。入所者様の排泄状況の把握に努め、1人1人にあった声かけや誘導等を行い、パット使用等を減らしトイレでの排泄を促している	日中は利用者全員がリハビリパンツで過ごしている。落ち着きがない時や食事や入浴前、居室への出入り時に声掛けを行い、トイレ誘導を心がけている。トイレは居室からすぐに見えるところに位置している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事以外の時間に水分補給の時間を設け、午前のおやつ時には、牛乳を毎日お出し、便秘予防に繋がるように支援している。非常に困難な便秘者へはキウイを毎日提供するなど工夫している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴時間を午前と午後を設定し、週に2~3回入浴して頂けるよう声をかけ、入居者様の気分・希望に添って柔軟に対応している	時間は決めておらず、一日の中で入れる時間帯に入ってもらえるようにしている。リフトを活用しどのような身体状況の人も、湯船につかれるように支援している。拒否の強い方には曜日、声掛け、職員変更にて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状態の応じて日中も居室で休まれる時間を設けている。夜間に支障がないように、生活リズムを整えるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関することは、医師や看護師の指示の上、確実に入居者様一人一人に合わせた内服方法で確実内服介助をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の残存機能・能力を生かし、掃除や洗濯干しや楽しく出来るように、生け花やトランプやカラオケなどの気分転換になるように支援させて頂いている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日や入居者様の希望に添って庭や外周の散歩に行ったり、御家族様等と外出できるように支援している。イベントで外食の機会を設け回転ずしに行かれる事もある	DVDを使って毎週違う音楽で体操を行っている。昼食後の2時から3時頃にかけて、施設回りの花を見に出る程度であるが、週1回程外出するようにしている。イベントで回転ずし等外食に行くこともあるが、外出に積極的な利用者は少ない。	施設周辺の花を見に出る利用者も1名いるが、多くの利用者が外に出かけることが少ないので、近隣にスーパーや神社、畑に囲まれている環境を利用して楽しくなるような外出支援ができるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の能力や希望により、小銭程度のお金を手元に持つ方もいる。外出支援等で買い物された際は、現金を預かっていた事を説明しご自分で支払いができるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様等と相談の上、手紙や電話のやりとりが行えるように支援している。居室に携帯電話を置かれている方や、年賀状をご家族様に出せるような支援もしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日掃除を徹底して行い、フローアの水ぶきは1日2回。常に清潔に保つようになっている。年1度は担当制で5Sの実施を行っている、入居者様が過ごしやすいように温度・湿度設定管理を行っている、季節にあった物をテーブル席に飾ったり、季節行事を味わって頂けるように支援している	共有部分の入口に正月の写真が多少飾られている程度で展示物は少ないが、木のぬくもりの感じられる空間となっている。廊下は茶色で壁は薄茶色、表札は木できており周囲にマッチしている。利用者の名前は手書きの習字で個性がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアにて入居者様同士で談笑したり、テレビをみたり、入居者様一人一人に合わせた居場所が作れるように支援している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が安心して生活が送れるように慣れ親しんだ家具等を置き、御家族様等や御本人様の希望に添って居室作りに努めている。木製の表札を設置しご自分の居室の安心感を感じて頂けている	ほとんどの利用者が、昼間はフロアにすることが多い。居室は、こたつや冷蔵庫、ポット、テレビなどの電化製品や今まで使っていた椅子を持ち込んでいる方もいる。家族の写真やお位牌が置いている方もおり、居心地の良い安心できる空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様が安全に生活できるように、1人1人の居室に表札を設置し自分の部屋が理解できるようにしている。建物の造りもトイレがわかりやすい場所に各階3ヶ所設置し自立を促している		